

# 子育てに笑顔を、喜びめぐる未来へ

## 兵庫県丹波篠山市 特定非営利活動法人スマイルポケット

### 1. 組織概要

NPO法人スマイルポケットは、「子育てに笑顔を、喜びめぐる未来へ」をビジョンに掲げ、地域の子育て世帯を支援する活動を展開している。前身である『丹波篠山の子どもの食と健康を守る会』として2年半の活動を経て、2022年12月20日に法人を設立。2023年4月から本格的に活動し、様々な事業を通して地域社会に根ざした支援を継続している。

### 2. 活動の目的

スマイルポケットの活動は、「smile forward 笑顔になった誰かが、次の誰かを



ささっこスマイル便、仕分け作業

笑顔に！」をキーワードとして、子育て世帯とのつながりと寄り添いを重視している。経済的な困難や、障害、病気、孤立など、様々な困難に直面する子育て世帯に対し、きめ細やかな支援を提供し、子どもたちとその家庭が安心して生活できる環境を整えることを目指している。

### 3. 多様なニーズに応える包括的支援

スマイルポケットの活動は、食糧支援から、体験活動、相談支援まで、子育て世帯の多様なニーズに対応する包括的な支援を展開している。

#### ① ささっこスマイル便

経済的に困窮している子育て世帯や、障





ささっこスマイル便、お届け作業

害、難病を抱える世帯に対し、毎月1回、食材や日用品を直接自宅に届けている。食材などの仕分け作業には、コープこうべ・ネットヨタの職員にも参加いただき、J A丹波ささやまからは野菜の提供も受けている。2023年8月から現在までに延べ1222世帯、親子合わせて4369人に支援を提供し、生活を支えている。食糧支援ではあるものの、一番の目的は「見守り」であるため、毎回同じスタッフが届けることで信頼関係を築き、相談しやすい環境を作ることを大切にしている。

実際に取り組んでみると、不登校児童や発達障害児童のいる世帯、保護者自身が精神疾患を患っている世帯が多く、本事業の必要性を改めて実感している。

②ひとり親世帯の交流会

孤立しがちなひとり親世帯がつながり、ひとり親特有の悩みを相談したり情報交換する機会を提供するため、夏野菜や黒枝豆の収穫体験交流会と料理教室交流会を実施。これまでに合計9回実施し、延べ50世帯、121人が参加している。農作物の収穫体験では、豊かな自然の中で親子ともに楽しい時間を過ごしている。市内の障害者作業所が運営する農園に協力いただくことで、障害者のみなさんも子どもたちと交流することができ、お互いにメリットのある取り組みとなっている。料理教室交流会は、子どもたちが最低限の調理技術を身につける



農作物収穫体験交流会

ことができる上、日頃ご飯を作ってもらっている親への感謝の気持ちも生まれている。

③ささっこ青空ひろば

コロナ禍で行き場を失った子どもたちのための遊び場として始めた事業。児童支援センターやスポーツセンターのスタッフを講師に迎え、「遊びの教室」や「運動プログラム」を開催し、昼食として弁当の支援も行っている。これまでに6回実施し、延べ52世帯、173人が参加し、子どもたちの健やかな成長をサポートしている。

④ささっこ弁当

より多くの子育て世帯と繋がることを目的とし、弁当を無料配布している。これまでに6回実施し、延べ434世帯に



料理教室交流会



ささっこ弁当



ささっこ青空ひろば

1748食を提供した。弁当を申し込まれた世帯がひとり親世帯や多子世帯の場合は、受け渡し時に声を掛け、個別の困りごとを把握し、他の支援事業へとつなげる役割も担う事業となっている。

#### ⑤個別ケースへの対応

冷蔵庫などの電化製品、学習机などの家具、おむつ、粉ミルク、学用品、日用品を提供するなど、経済的に厳しい子育て世帯の個別ニーズに対応。「今晚炊くお米がない」「あと5日分しかミルクがない」などの緊急性の高いニーズにはできるだけその日のうちに対応するよう取り組んでいる。スマイルポケットで在庫している物資の提供だけでなく、必要なものを探す支援や、ランドセルや制服などのリユース品の収集と提供など、きめ細やかなサポートを行っている。

### 4. 活動の成果と受益者からの声

スマイルポケットの活動には、利用者の多くから感謝の声が寄せられている。

「困っていることを安心して相談できる場所があることが心強い」

「カウンセリングを受けられて子どもに手をあげずに済んだ」

「月1回の訪問が精神的な支えになっている」

など、私たちの支援が多くの家庭に役立っていることを実感している。食糧支援や物資提供による経済的な支援だけでなく、相談できる窓口の存在や、誰かに見守られているという安心感が孤立を防ぎ、子育て世帯の大きな支えとなっている。

また、子育て世帯の置かれている状況やニーズを把握し、適切な支援につなげるだけでなく、制度から漏れ落ちている子育て世帯の状況を行政に報告し、制度の改善や新設を提案する重要な役割も担っている。

### 5. 今後の展望

スマイルポケットは「子育てに笑顔を、喜びめぐる未来へ」をビジョンに、地域住民や支援者、地元企業や各種団体、また行政や社会福祉協議会との連携を一層強化して、子育て世帯の笑顔をつなぐ活動を今後も継続する。持続可能な運営体制を構築し、子育て世帯の支援という喫緊の課題に取り組むだけでなく、丹波篠山市に「地域社会全体で子育てする」という空気を作り上げるために、そして他地域にとっても参考となるモデルケースになるよう、さらなる努力を続けていく。

(特定非営利活動法人スマイルポケット

代表理事 中村伸一郎)